

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
北海道2歳優駿	2018/11/1	JpnIII	門別	1800m	スローペース	重	道営勢とJRA勢の能力比較

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	トイガー	牡2	55	和田	ヘニーヒューズ	ノーザン系	フォーティナイナー	ノーザン系	D	B	C	C	C	C		
2	2	イグナシオードロ	牡2	55	阿部龍	ヴィットリオードロ	ノーザン系	スマートボーイ	ノーザン系	B	B	B	A	B	B	△1	
3	3	ロビュスト	牡2	55	石川倭	モンテロッソ	ミスプロ系	バイオマスター	ノーザン系	D	B	C	C	C	C		
4	4	ホワイトヘッド	牡2	55	服部	ダンカーク	ミスプロ系	ステイゴールド	サンデー系	D	B	C	B	C	C		
	5	マイコート	牡2	55	永島	ロジユニヴァース	サンデー系	アラムシャー	ノーザン系	A	B	B	A	A	B	○	
5	6	スズカユース	牝2	54	岩橋	スズカコースウェイ	ノーザン系	フジキセキ	サンデー系	D	B	C	B	C	C		
	7	ウィンターフェル	牡2	55	井上	ダノンバラード	サンデー系	プリサイスエンド	ミスプロ系	A	B	B	A	A	B	◎	
6	8	テイエムアカリオー	牡2	55	横山典	ケーブブランコ	ノーザン系	タイキシャトル	ヘイロー系	D	B	C	D	C	C		
	9	ミヤケ	牡2	55	ルメール	ディープリランテ	サンデー系	Unbridled's Song	ミスプロ系	C	A	C	C	B	C	×1	
7	10	イッキトウセン	牡2	55	吉原	プリサイスエンド	ミスプロ系	マーベラスサンデー	サンデー系	C	A	B	C	B	B	△2	
	11	サクセッサ	牡2	55	桑村	アドマイヤオーラ	サンデー系	ブラックタキシード	サンデー系	B	A	B	C	B	A	▲	
8	12	イルジオーネ	牝2	54	北村宏	ワークフォース	ミスプロ系	ネオユニヴァース	サンデー系	C	B	B	C	B	C	△3	
	13	リンノレジェンド	牡2	55	赤岡	トビーズコーナー	ノーザン系	ケイムホーム	ミスプロ系	D	A	C	C	C	C		

隊列図	見解	ラップタイム
イグナ マイコ リンノ ウィン スズカ ミヤケ ホワイ トイガ サクセ イッキ ロビユ イルジ テイエ	エーデルワイス賞に続き、地方勢（というか地元の道営勢）の奮闘が目立つのがこの北海道2歳優駿。過去5年の北海道2歳優駿3着以内馬は、JRA勢が【3.3.1.12】に対し、地方勢が【2.2.4.29】。3着以内馬の数で見れば、ほぼ互角の数字になっている。JRA勢で3着以内に入ったのは、14年2着カラパナビーチを除けば、前走500万下（主にプラタナス賞）で上位争いした馬ばかり。今年でいえば、ガルヴィハーラ、リーピングスター級の馬が出走し、それでも勝てるか分からないというのが北海道2歳優駿だ。今年のJRAからの出走馬は、ダート500万下組が不在の上、未勝利組も例年以上に小粒な印象。紙面を見る限り、イルジオーネ、ミヤケ、トイガーは人気を集めそうだが、今年は道営勢で上位独占もありうる年なのではないか。それでは予想にいきましょう。 本命は ウィンターフェル が堅実駆けだろ。デビュー以来、コスモス賞を除けば、【3.2.0.0】の堅実派。前走サンライズカップではマイコートとの叩き合いに敗れたが、どうも他馬と馬体を併せると追い抜くのをやめてしまう面があり（勝利した時はすべて0.1秒差以内で先頭に立つと満足してしまうのだろう）、本馬の悪い面が出てしまった印象。（以下省略）	回顧 次走狙い馬

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	トイガー		2走前に本命に推してお世話になったが、近2走は相手関係に恵まれていた。スタートセンスがなく、1枠1番に入ったことで後手後手に回りそうで、そもそも力を発揮できずに敗れるのではないかな。		
2	2	イグナシオドーロ	△1	前走サンライズカップで上位2頭に完敗したものの、その2頭を除けば、当然上位の存在。今回、番手に収まりそうなマイコート、ウィンターフェルは前にいるイグナシオドーロよりも後ろにいるJRA勢に意識が向きそうで、結果的に本馬が楽逃げを打てることになるだろう。		
3	3	ロビュスト		距離を伸ばしてから良いところがない。短距離馬なのでは。		
4	4	ホワイトヘッド		2走前のフリーターズゴールドジュニアカップではイグナシオドーロ、前走サンライズカップではウィンターフェル、マイコートらに完敗。道勢同土での比較でも分が悪い。苦戦必至だろう。		
	5	マイコート	○	サンライズカップの走破時計は例年の北海道2歳優駿で勝ち負けできるレベル。重以上だと【2.0.1.0】と相性が良く、スラッとした体形を見ても、スピードが出る馬場の方が合っている。当日は重での開催になりそう。本馬にとって力を発揮しやすい条件にもなりそうだ。展開面でも恩恵を受けるはず。		
5	6	スズカユース		フローラルカップ勝ち馬だが、同レースはメンバーレベルが低かった印象。ダートで【2.2.0.0】と大崩れなく走ってはいるが、牡馬の強豪に混じって好走するイメージが湧かない。		
	7	ウィンターフェル	◎	デビュー以来、コスモス賞を除けば、【3.2.0.0】の堅実派。近年の北海道2歳優駿の勝ち時計は1分54秒後半～55秒後半で推移。サンライズカップの走破時計は1分55秒8。時計はまだ詰まりそうな印象も受けたので、十分に北海道2歳優駿で勝ち負けできるレベルに達していると見ていいだろう。		
6	8	テイエムアカリオー		前走単勝214倍でアツと驚く勝利だったが、タイムランクEでメンバーレベルも低く、ダート適性があったのは間違いないが、それ以上に組み合わせに恵まれた面が大きかった。さすがにダートグレードで通用する器ではないだろう。		
	9	ミヤケ	×1	管理する村山厩舎はダート>芝の傾向が強いので（過去に管理していたのは、コパノリッキー、ダノンレジェンド、テストマツタなど）、本馬もダートでパフォーマンスを上げて驚けないかな。ただルメール騎手騎乗で人気を集めるなら期待値的には低いはずで、積極的に買うべきではないだろう。		
7	10	イッキトウセン	△2	2走前のフリーターズゴールドジュニアカップでは勝ち馬イグナシオドーロから0.1秒差の2着に好走。当時の走りを考えると、前走サンライズカップは負け過ぎで度外視していいかもしれない。今回はプリンカーを着用。一変しても不思議ではなく、前走の一戦だけで見限らないほうがいい。		
	11	サクセッサ	▲	近2走は結果が出ていないものの、2走前のウィナーズチャレンジは外々を回らされた分の負け。前走サンライズカップは上位2頭に完敗だったものの、3着イグナシオドーロとは0.2秒差。そのイグナシオドーロを捕らえる勢いはあったので、イグナシオドーロと同等程度の評価をしていいだろう。		
8	12	イルジオーネ	△3	初ダートの前走は4コーナーから外目を回って一気に進出。時計や相手関係以上に見どころがあり、前走はそもそも休み明けかつ初ダートだったので、まだ上積みが見込めるだろう。経験が浅い分、砂を被らずに運べる外枠を引けたのもプラスだ。		
	13	リンノレジェンド		2、3走前のレース内容からダートグレードでは荷が重だろう。鎌倉記念で5着なら北海道2歳優駿でそれ以上の着順になることはない。		